

第5回学園運営協議会

2026.1.14



学校関係者評価

○質問項目の内容が抽象的なので、**評価結果の数値に客観性**をもたせるのであれば、前期との変化に着目すべき。

○保護者向け「ほめチャレンジ10」を実施したが、**家庭間格差**を感じた。また、評価結果の数値の意味も考えたい。「80%」は十分高いこともある。

○学校関係者評価は、**結果をもとに議論**する内容を提案してほしい。方策を考える機会にしたい。



「令和8年度の重点的取組」

【学園】 【クリエイト】主体的な学びを生み出す基礎基本の徹底
【コミュニケーション】「日の里カリキュラム」の評価・改善
【チャレンジ】重点単元の確実な定着を図る「ひのたんタイム」と「チャレンジ10」の実施

【家庭】 ◎「保護者も一緒にチャレンジ10」の継続的实施
◎ほめ方の工夫

【地域】 ◎防災行事で地域とのさらなる協働
◎地域と学園の協働活動の増加
◎GT、サポーターの増加
◎子供の居場所づくりの推進



○学校評価は来年度の学園の方針と関連するもの。評価項目については、来年度の重点目標や組織と関連させ、**内容の変更、焦点化**を検討してほしい。



運営協議会の様子